

平成19年12月10日(月)：年末年始(11)号

# あ じ ぶ る さ と 阿 字 の 故 郷

天応山神保寺 千手院 情報誌

編集者：川上修 註

平成十九年下半年の行事報告

孟蘭盆会に建設委員からの報告

【八月十日午後二時～五時】例年どおり行われた施餓鬼供養の後、檀信徒総会が開かれました。その際に、住職から本堂建設委員を代表して白井好之副会長へ、建設寄付金の通帳が引き渡されました。

十一月末時点で約八千万円のご寄付をいただいておりますが、未だ伺えていないお宅もございますので、住職・役員一同鋭意努力して参りたいと思っております。

また、更にご寄付をお考えの方がございましたら伺わせていただきます。

相模檀信徒協議員と住職の研修会

【九月十一日】ロワジール厚木の会場で、千手院からは、檀信徒総代の原田季昭護寺会副会長が出席し、相模支所主催で開催。

宮大工で鵜工舎々主の小川三夫先生と、文化庁指定で木彫修復専門仏師の桜井洋先生に、それぞれの現場でおきていることや、長年の経験をお話いただきました。

桜井先生は、「仏像修復は、値段や技術だけを見ないで、信用のおける相手を選ぶことが結果として成功し、信仰対象としての対面を保てる。」と言われました。

小川先生は、「事に当たって、人身を束ね、技量によって仕事を振り分け、全うできない時はその任を去る気概が必要。」と言われました。

建設委員の完成本堂見学会実施

【十月五日】円蔵の輪光寺様は、関光範住職が数十年前に本堂建設。境内の前方に有った本堂を後退させ、前方を広くして境内を広げたそうです。

秦野の金蔵院様は、日置光雄住職が昨年本堂建設。地元業者に発注も中途放棄され、後を引き継いだ文化財修復の資格を有する宮大工が苦勞の末に完成させました。

寒川の西善院様は、静岡の宮大工に発注して十数年前に小林善信住職が本堂建設。現住職が着任した際には、棟上げも済み開わりが浅かったようですが、造りは、相模の檀家総代の数人の方が賛美しています。

柳島の善福寺様は、昨年書院を千手院と

同額程度の予算で井上景暁住職が建設。床柱を目玉にし、格天井で幅三間の客間は広々として使いやすそうでした。

十間坂の円蔵寺様は、茅ヶ崎駅前で第一種防火地域のため、旧本堂の柱を残したまま改築。木南真善住職は未だに役所への申請の難しさを語っておられました。

### 相模支所主催高野山団体参拝に参加

【十月二十二日～二十四日】現在の相模支所会長津久井の東林寺ご住職河口隆俊僧正を代表として、相模支所下寺院住職と檀信徒が集い、千手院からも住職他二名の方が参加いたしました。

高野山では、奥の院・伽藍・金剛峯寺等を参拝し、本山では、参加者約九十名が写経の奉納式を行い、柏田良辨内事長から謝辞が述べられました。宿泊は高室院様で、大勢の青年僧のお接待に感激しました。

参拝の後は場所を移して彦根城と周辺そのを観光。今話題のキャラクター「ひこにゃん」に至る所で見ることができましたが、表現の自由はどう解釈されるのでしょうか見守りたいと思っています。



高野山御影堂（千手院再建本堂のお手本）

### 阿字観実修の派遣講師で出張

【六月六日～七日】高野山真言宗和泉自治布教団主催の研修会。大阪の岸和田と言えば、勇壮な「だんじり祭り」で有名ですが、その「だんじり」が祭りの最後に行き着く久米田寺の境内があります。

このお寺は、奈良時代に行基菩薩が増築された久米田池の湖畔に位置し、池の管理に当たっていたものと思われれます。

以前は、池と境内の境目が平坦で緩やかだったために、勢いのついた「だんじり」が止まりきれず、池にはまってしまったことが有ったそうです。

通称久米田寺ですが、臥竜山隆池院といい、高野山宝性院の末寺で、境内に開山行基堂・観音堂・明王院・華嚴院・多聞院等の堂宇を有しています。

【六月十三日～十四日】愛媛県松山市道後温泉古湧園の宴会場で、真言宗御室派青年教師会主催の研修会が開催。

お四国のお寺は、札所が多いためにお寺での研修会が開きにくく、知り合いの旅館を借りることとなったようです。

すぐ近くに、映画「千と千尋の神隠し」の油屋の元となったお風呂屋さんがあり、雰囲気の良い感動いたしました。

また、お世話をしていただいた僧侶のお寺は、大洲市東大洲の十夜ヶ橋永徳寺で、旅の途中の弘法大師さまが、宿泊場所が見つからずに難儀して、橋の下で過ごした由来のある場所に出来たお寺です。

【十月十五日】高野山東京別院で高野山真言宗の東日本青年教師交流会が開催され、相模真友会の担当で阿字観実修会が実施されました。

東日本地区の一都八県から七十名程の青年教師が集まり、お互いの交流も兼ねて実修に臨みました。

会場の高野山東京別院は、江戸時代に修行僧の学舎として造られ、幕府の威光を全国の高野山関係寺院に伝達していました。

昭和六十三年に現在の伽藍が完成し、毎年十月の中旬には、ローソク祭りが盛大に開催され、多くの方々が参詣されています。

【十月十六日】兵庫中山寺青年教師会の主催で、職員僧侶向けの阿字観実修会が実施されました。

阪神淡路大震災で倒壊した伽藍も復興を遂げて、子安観音さまのご利益を求めて連日多くの参拝者で賑わっています。

【十二月十二日】真言宗御室派の岡山青年教師会主催で阿字観実修会が開催され、講師として伺うことと成っております。

本誌の編集には間に合いませんが、年内の行事として期日のみ掲載しますが、詳細は機会があればお知らせいたします。

平成十九年師走の行事予定

本堂と境内の大掃除

【十二月二十四日の月曜日午前十時開始】年末の大掃除を致します。ご本尊様やご先祖様の周りを檀信徒の皆様の手で磨きをかけ、すがすがしい気持ちで新年に備えます。参加ご希望の方は、ご連絡下さい。大勢の方の参加をお待ちしています。

年越しの祈願法会（ご守護札ご祈願）

【大晦日午後十一時三十分より元旦午前〇時三十分まで】新年のお守り札をご祈願する読経会を致します。

読経の後は、食事をしながら歓談の場を設けておりますので、ご本尊様やご先祖様へのご挨拶をいたしましょう。

平成二十年上半期の行事予定

初詣受付

【元旦三日】正月の三箇日は、初詣の方々をお接待しております。年頭に御本尊様やご先祖様にご挨拶をいたしましょう。

新年答礼

【一月四日の終日】住職が近隣の護寺会員宅にお守り札を持って伺います。天候や仏事の都合で伺えない場合も有りますので、その際はご了承下さいませ。

節分護摩祈祷大法会

【二月三日日曜日午前十一時】十間坂の円蔵寺にて節分護摩祈祷大法会が行われます。護摩札ご希望の方は、千手院寺務所までお申し込み下さい。一枚二五〇〇円です。

春季彼岸会閻魔十王祭

【三月二十日木曜日午前十一時】春分の日午前十一より、境内閻魔十王堂前にて読経と法話を行います。

昼食を兼ねた茶話会も予定しておりますのでお誘い合わせの上お越し下さいませ。

## 平成二十（二〇〇八）年の回忌表

一周忌 平成十九（二〇〇七）年  
三回忌 平成十八（二〇〇六）年  
七回忌 平成十四（二〇〇二）年  
十三回忌 平成八（一九九六）年  
十七回忌 平成四（一九九二）年  
二十三回忌 昭和六十一（一九八六）年  
二十七回忌 昭和五十七（一九八二）年  
三十三回忌 昭和五十一（一九七六）年  
三十七回忌 昭和四十七（一九七二）年  
五十回忌 昭和三十四（一九五九）年  
百回忌 明治四十二（一九〇九）年

ご法事をご希望の方は、お寺に日時の確認をしてからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合が有りますので、先着順とさせていただきます。

必要事項は左記の内容です。

日時と場所の確認を一番にします。

卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。

参加者の人数を前日までに確認。

食事の有無と場所を確保します。

生花と供物の注文を頼むか持参か。

位牌と遺影は機にに応じて考えましょう。

## お墓についてのご質問に答えて

お墓の永代使用権は、護寺会員が管理権限者住職の指示に従っている限り、永代に使用できる権利の事をいいます。お墓には、所有権が有りませんが、個人の自由で譲渡は出来ません。必ず祠堂の継承者を住職にお知らせください。既存の墓石改修は、必ず住職の許可を得てから行ってください。施主と石材店は必ずそろって住職との面談で工事を進めることが義務となります。墓所での読経は、墓石を外す前と完成時の二回行います。今まで失念していた方は、お申し出ください。現在の墓所管理は湘南メモリアルネット（沼上氏）に委託しています。

境内墓所と飛地墓所は、霊園では有りません。個々の権利の主張よりも全体の融和を第一に考えております。住職の権限を軽視した行動は、墓所の環境を守る事が困難に成りかねません、必ず住職に報告の上末永く良い環境を守っていきましょう。

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

# 千手院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム <http://shusen.com/senjuin>

メール [senjuin@shusen.com](mailto:senjuin@shusen.com)